

# 身障いばらき

URL [http://www2.odn.ne.jp/iba\\_sinshoukyou/](http://www2.odn.ne.jp/iba_sinshoukyou/)

第77号 (法人化第28号)

発行者 会長 高 木 昇

編 集

一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会  
茨城県水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館

T E L (029) 243-7010

F A X (029) 243-7018

## 早春の筑波山と虞美人草の花



当協議会では平成7年度まで、筑波山（真壁町羽鳥薬師堂前～御幸ヶ原）において、主要行事の一つである「山の集い」、「銀輪の集い」を開催し登山訓練及び歩行訓練並びに走行訓練を実施してきました。

### 目

- 事業報告「ブロック会議」…………… 2
- 東京パラリンピックボランティアに参加して…………… 3
- 車いすで芝生の中へ  
タイヤカバーの開発…………… 4
- 地域レポート…………… 5
- 令和3年度事業活動と結果…………… 6
- 名誉会長 中山康雄氏の逝去を悼む …… 7
- 叙勲褒章受章者の紹介…………… 8
- 賛助会員への加入・寄附金等…………… 8

### 次

## ブロック会議

令和三年十二月八日総合福祉会館において県南地区ブロック会議を開催しました。

県南地区の六団体の会長及び事務局並びに当協議会の正副会長計十九名が参加しました。

- 議題は①団体運営上の課題、②上記課題で特に注意、留意していること、③会員数の動向、会員確保のための方策、④コロナ禍での会費の徴収方法、⑤コロナ禍で事業ができないことによる補助金や助成金の取り扱い、⑥事業を実施できないことによる補助金や助成金への影響等について意見を交換した。
- ①団体運営上の課題について  
どの団体もコロナ禍で行事ができないこと、会員が高齢化し会員数が減少していることが共通の課題であった。
- ②右記課題で特に注意、留意していること

稲敷市団体では、市役所の一

階の一部を借り、会員が作った野菜を週に三回程度販売している。コロナ禍で行事ができない。行事には会員だけでなく家族でも可能な方は出てもらっていること、会員数はそれなりにいるが、活動できる人が年々少なくなってきた。また、年四回理事会を開催して行事の実施などを協議している。

阿見町団体では身体障害者だけでなく、知的障害者も会員として参加している。

③会員数の動向、会員確保のための方策

稲敷市会長より、会員になってもらうには家族の理解を得ることが大切である。家族は障害者がいることを隠したが、幸い、会員の中に家族に説明に行ってくれる者がいるとの報告があった。

龍ヶ崎市団体では、障害者がどこにお住まいかがわからないため社協会報や市広報へ「当協会の案内」を掲載方、依頼しているとのこと。

なお、団体によっては、地区

推進員や地区役員が地区の状況を把握しているとのこと。

### 高木会長のコメント(概要)

身体、知的及び精神障害者の相互交流を図ることは大切なことであること。

また、補助金、配分金の取り扱いについては、所管機関の行政及び社会福祉協議会と充分協議すること。

会に加入してもらうためには、会員になった場合のメリット、魅力等を説明し、了解されないとなかなか加入してもらえない。今年はコロナ禍で行事が思うようにできなかったため、会費の半額を商品券等で会員に還元することとした。

十二月上旬には、クリスマス会を開き、県ポッチャ協会に指導員の派遣を要請し、ポッチャ大会を開催したところ会員からとても好評が得られた。

これは、ポッチャはルールが簡単であり、障害が重い方でも参加できるので、多くの方が参加でき、また、しばらくぶりに

会員が集まり、それぞれが楽しい一時を過ごすことができたためと思われる。

会員数が減少しているので、会員を増やすことは大切であるが、行事に参加した方が「参加して本当に良かった、楽しかった」と思える行事を企画実施することもとても重要であると考える。

また、高齢者、障害者もデジタル社会に乗り遅れることなく、その恩恵を享受することが必要であるとのこと。



## 東京。パラリンピックボランティアに参加して

つくば市身体障害者福祉協議会副会長 齊藤 敦子



この度の  
T O K Y O  
2 0 2 0 年  
リ  
ン  
ピ  
ッ  
ク、

パラリンピックは、人々に感動と勇氣、希望を与えて無事に終わりました。

私は今回、ボランティアとして参加させていただきました。2018年秋、ボランティアの募集があり、私は右半身に麻痺と運動障害がありますが、私にも出来るかどうかなんて関係ない！平和の祭典であり世界最高峰のオリパラに関わりたい！と応募してみました。8万人のボランティア募集に対し、20数万人の応募がありました。

2019年の春から応募者全員と順次オリエンテーションと面接があり、私は8万人に残ることが出来て、パラリンピックのボランティアをすることになりました。

この度のオンラインでE-learningした。オンラインでE-learning研修を数十回受け2020年から現地会場や、研修センターなどで研修が始まる予定でしたが、2021年の開幕まで全てオンライン研修でした。

私は有明体操競技場で行われるボッチャのボランティアです。競技会場で、選手や審判の誘導や試合後のコート消毒やモップがけなどの活動です。

体操競技場の隣には有明アリーナがあり、この二つの会場の駐車場や、駅からの道路、関係者のためのレストランなど、全てのボランティアは1日に約1000人で、その中で競技の最先端で活動できるのは1日15人。本当に一握りです。

私はボッチャ中心の障害者スポーツ指導者なので、選んでもらえたそうです。茨城からの参加なので、全て午後1時からの

活動です。毎回通うつもりでしたが、3日で挫折。有明のビジネスホテルに宿泊することになりました。終わるのが夜の9時や10時ですが、近くにホテルを取ったため、活動終了後も色々な方と余裕で友好を深めることができました。

あくまでもボランティアなので、競技が見える場所であっても、試合を見たり、選手の写真を撮ったり、会場内の写真をSNSには上げてはいけません、等々沢山の制約がありました。無観客なので、試合を盛り上げるのもボランティアの仕事です。入場の時は、動きにくい手が真っ赤になるほど手拍子と拍手で出迎えます。

選手が通る通路には、折り紙で鶴や手毬を折って飾ったり、会場からバスへ向かう選手をボランティアみんなで見送ったりと、選手が無観客で寂しい思いをしないよう、やる気が保てるように私も真剣でした。

ボッチャは、個人で金、ペアが銀、団体で銅と全てのメダル

を獲得しました。表彰式は、制服を着た自衛隊員が国旗を持って規律正しく掲揚します。日本のエース杉村選手が個人で金を取ったとき、日の丸を見上げながらの君が代は今までで1番感動しました。

ボランティア仲間とコートにモップをかけながら、私たちパラリンピックのコートを掃除してるのよ！などと感無量、全てが感動でした。夢のようなパラリンピックは終わりましたが、もう生涯経験することはできない、本当に貴重な経験ができて幸せです！



パラリンピック会場にて

## 車いすで芝生の中へ タイヤカバーの開発

(茨城新聞記事より転載)

潮来市須賀南の松崎昌樹さんが、車いすの人でも芝生の中に入れる「芝生及びグラウンド保護用車いすタイヤカバー」を開発し、同カバーを装着した車いす2台を潮来市社協に寄贈した。障害のある人と一緒にグラウンドゴルフを楽しもうとしたのがきっかけで、現在は商品化を目指している。



中央がタイヤカバーを開発した松崎昌樹さん

松崎さんは「普及して多くの方の役に立ってくれたら」と願う。

市身体障害者福祉協議会長を務める松崎さん。市内でグラウンドゴルフ大会を開催しているが「車いすの方は芝生を傷めるので一緒に参加できなかった。なんとかできないか」と考えたことが、タイヤカバーを開発す

るきっかけだった。

カバーはプラスチック製で、縦約3・5センチ、横約5・5センチのパーツを複数連結させてタイヤを覆う。設置面積が広くなるため、芝生の上で車いすを使用することができるようになる上、補助者も車いすを押しやすくなるという。

一般的な車いすのタイヤの場合、パーツ72個で全体をカバーする。着脱はタイヤの空気を抜いたり入れたりすることで可能となる仕組みで、松崎さんはこの方法の特許を取得した。

開発は有志7人で立ち上げた株式会社で行い、構想から約5年で形になった。すでに商標登録も済ませ、今後、タイヤカバーは注文に応じて販売することを予定している。

車いすを贈られた市社会福祉協議会の根本健助会長は「一人でも多くの方にスポーツをする機会が得られることは大変ありがたい。市では、いろいろなグ

ラウンドゴルフの大会が行われており、必要に応じて貸し出したい」と活用方法を話した。

(以上、令和4年2月8日付け茨城新聞より転載)



潮来市内で開催されたグラウンドゴルフ大会 (提供：潮来市身障協)

# 地域レポート

各団体会報の記事を掲載します。

## 「ボッチャを楽しむ」

常陸太田市身体障害者福祉会

会長 高木 昇

十二月四日土曜日、常陸太田市総合福祉会館でのクリスマス大会でボッチャ大会を開催しました。

ボッチャは、東京パラリンピックで日本人選手の活躍が報道され日本中に感動を与え、またルールが簡単であり、障害が重い方でも参加できることなどから新たにボッチャ用具を購入しました。

会員に楽しんでもらえるよう企画し、当日、県ボッチャ協会の指導員の派遣を要請し、ルールやゲーム進行の指導、支援を頂きました。

競技が始まると参加者が一生懸命になり会場は熱気が感じ取れました。多くの方が参加でき

また、しばらくぶりに会員が集まったので、楽しい一時を過ごすことができました。



ボッチャ競技の様子



クリスマス会の集合写真

## 「メロン販売」

鹿嶋市身体障害者福祉協議会

会長 石津 初美

令和三年度事業計画に合わせ、令和三年六月二日と三日の二日間、市役所前駐車場にてメロン販売をいたしました。

お客様も早々と来てくださり、一日百箱以上が完売となるほど大盛況でした。その後各地へ発送し、みなさんに美味しく食べてもらえたことと思います。

コロナの事もあり、密をさけながらでしたが、久々の事業はととても楽しく、時間が過ぎるのがとても早く感じました。好天に恵まれ、会員・ボランティアの協力をいただき、無事に終えられた事に感謝いたします。

(川地 好子)

また、当協議会ではまちづくり市民センターで毎月二回パソコン教室を開催し、操作技術が確実に向上しました。



## 令和3年度 当協議会の事業活動と結果

月	日	事業名等	場 所	主催者等	実施状況等
4月	21日(水)	正副会長会議(第1回)	県総合福祉会館		書面協議
	28日(水)	令和2年度分監査	県総合福祉会館		書面監査
5月	11日(火)	理事会(第1回)	県総合福祉会館		書面決議
	26日(水)	令和3年度通常総会	県総合福祉会館		書面決議
	23日(日) ほか	令和3年度茨城県障害者スポーツ大会	笠松運動公園他	県、県障害者スポーツ・文化協会	延期 その後中止
6月	25日(金)	地区就労支援相談員研修会	県総合福祉会館		中止
	30日(水)	広報委員会	県総合福祉会館		書面協議
7月	28日(水)	正副会長会議(第2回)	県総合福祉会館		書面協議
9月	19日(日)	結婚相談事業日曜交流会(第1回)	県総合福祉会館	県委託事業	中止
10月	上旬	第20回ゆうあい卓球大会		青年部会	中止
	下旬	若人の集い		県委託事業	中止
11月	1日(月)	会報「身障いばらき」発行(76号)	—		2500部 発行
	5日(金)	第47回山の集い、第43回銀輪の集い	ひたちなか市 ひたち海浜公園	県委託事業	中止
	14日(日)	第24回ゆうあいカラオケ歌謡発表会	県総合福祉会館	青年部会	中止
12月	2日(木) ～6日(月)	ナイスハートふれあいフェスティバル美術展、作品販売、いばキラTVでの動画配信による動画発表会	ザ・ヒロサワ・シティ会館	県、県障害者スポーツ・文化協会	実施
	8日(水)	県南地区ブロック会議	県総合福祉会館		実施
	上旬	結婚相談事業日曜交流会(第2回) クリスマス会	水戸市内	県委託事業	中止
2月	2日(水)	役員研修会	県総合福祉会館		中止
3月	16日(水)	正副会長会議(第3回)	県総合福祉会館		正副会長
	22日(火)	理事会(第2回)	県総合福祉会館		役員
	22日(火)	会報「身障いばらき」発行(77号)	—		2500部 発行

今年度もコロナ禍により止む無く書面決議、書面協議、また行事を中止にしました。

## 名誉会長 中山康雄氏の逝去を悼む



中山康雄氏は、昨年十月二十二日、享年九十四歳で逝去されました。

氏は、昭和三年旧潮来町米島に生を受け、家業の農業を営みまた、鉄工所を起こしました。

昭和四十三年外傷により障害を受けましたが、生来の行動力と人望があり、昭和五十一年に潮来町身体障害者福祉協議会会長に就任し、その後、県身体障害者福祉協議会理事、副会長を務め、平成十三年五月に会長に就任し、陣頭指揮を執られ、当協議会の二十数年来の懸案事項であった「法人化」を平成十五

年四月に達成されました。

これも、同氏の事業手腕と行動力それに役員、会員の支持と支援の賜物と思います。

私は、昭和五十五年から四期十六年潮来町協議会議員として文教厚生委員会等に所属し、福祉行政の向上に尽力して参りましたが、中山氏には舎弟のようにして接して頂き、公私にわたるご指導に感謝いたしております。

ここで、茨城県身体障害者福祉協議会が平成三十年に発行した「五十年のあゆみ」への同氏の寄稿文（茨身協設立五十周年記念に想う）の一部を引用いたします。

「顧みますと、私は平成十三年五月に急遽、当協議会の会長に推挙され、その後、二十年五月に荻津和良氏（茨城町）に引き継ぐまで四期七年間、会長職を

務めました。当時は、「当協議会の法人化」という、二十数年来の懸案事項が暗礁に乗り上げ、当初は一年限りで会長職を辞任しようと考えておりました。

しかし、「法人化するには一千万円の基金をつくること。」が必要とされていた時代であり、会員の皆さんに如何にして法人化のメリットを理解して頂き、寄付金を募って行くかが最重要課題でした。

法人化にあたり、新たな事業として結婚相談事業を県から受託し、結婚相談員を採用する等、当協議会の事業、行事の充実を図るとともに、正副会長会議や理事会では各役員から忌憚のない意見を述べてもらい、活発な議論が行われ、統一的な方向性が決定されました。・・・

寄付金を募るといふ事業を推し進めるには、口先だけの旗振り役では誰もついて来ず、（会長）が身をもって先例を示し、会長はじめ執行部の本気度を会員の皆さんに解ってもらふ必要

があったと今でも思っております。」（以上、引用）

中山康雄氏の冥福を衷心より祈念いたします。

（茨城県身体障害者福祉協議会副会長  
潮来市身体障害者福祉協議会会長  
松崎 昌樹）

### ありし日の中山氏



令和元年10月 山・銀輪の集い



米寿のお祝い：鹿島セントラルホテル

### 叙勲褒章受章者の紹介

令和三年度当協議会関係者の受章者を紹介いたします。  
受章誠におめでとうございます。

#### 旭日小綬章（春の叙勲）

#### つくばみらい市身体障害者福祉協議会会長 海老原 弘氏



小田川市長とともに

同氏は、平成三年に伊奈町議会議員に就任されてから、市制施行を経て令和二年に市議会議員を退任されるまで、七期二十八年間の永きにわたり、副議長をはじめ要職を歴任され、市の福祉の充実や生活基盤の整備に精力的に取り組み、市の発展に大きく寄与されました。

#### 瑞宝単光章（秋の叙勲）

#### 県身体障害者福祉協議会副会長 東海村身体障害者福祉協議会会長 岸 三男氏



山田村長とともに

東海村民生委員・児童委員として、昭和五十五年から平成二十二年までの三十年以上にわたり地域福祉の発展のために尽力されました。民生委員・児童委員として地域での献身的な活動や委員の育成等、地域福祉の発展や障害者福祉の向上に尽力されました。

#### 黄綬褒章（春の褒章）

#### 潮来市身体障害者福祉協議会 顧問 飯笹 雅之氏



原市長とともに

視覚に障がいを持つ飯笹氏は、潮来市でマッサージ業を約六十年間営みながら、自身と同じような障がいを持つ方を積極的に雇用し、日々の生活も支えられました。飯笹氏は原市長を表敬訪問し、受章の報告や活動について懇談され、「一体に障がいがあっても心は健康！」と話していました。  
(それぞれの市、村の了解のもと広報誌の写真、文面を引用いたしました。)

### 賛助会員への加入・寄付

賛助会員からの寄付、また、配分金、善意金、歳末愛の募金を頂き心より感謝申し上げます。

#### 【賛助会員】

- ・ 下妻市身体障害者福祉協会
- ・ 茨城町身体障害者福祉協議会
- ・ 境町身体障害者福祉協議会
- ・ つくば身体障害者福祉協議会
- ・ (株)高木総合保険センター様 (常陸太田市)

#### 【配分金】

- ・ (社福)茨城県共同募金会様

#### 【善意金】

- ・ 茨城県遊技業協同組合様

#### 【歳末愛の募金】

- ・ (公財)茨城新聞文化福祉事業団様

### 編集後記

この2年間コロナ禍により、ほとんどの行事が実施できず、会員の結びつきが疎遠になったのではと感じます。どうか、コロナが収まり、再び絆が戻りますようお願いいたします。(k・n)

この会報は共同募金の配分を受け発行しています。